

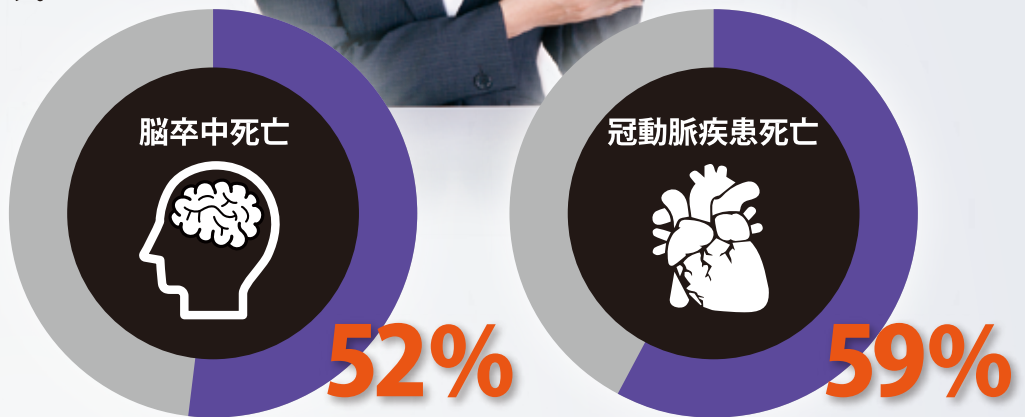
# 心血管死亡の約50%は高血圧が原因、 その年間死亡者数は10万人と推計されています。

高血圧は心血管イベントの最大の危険因子であり、  
脳卒中死亡、冠動脈疾患死亡の約50%が  
至適血圧レベルを超える血圧上昇による  
死亡と評価されています。

今回は、心血管イベント抑制のために  
必要な厳格な降圧と、その継続治療の重要性、  
また高リスク高血圧症患者さんにおいても  
優れた降圧効果が期待できる  
アダラートCRの有用性を紹介します。



血圧高値を原因とする  
心血管疾患死亡者数  
**100,000人/年**



## 心血管死亡における血圧高値の集団寄与危険割合

Fujiyoshi A, et al. Hypertens Res 2012; 35: 947-953  
Ikeda N, et al. Lancet 2011; 378: 1094-1105

● 収縮期血圧を10mmHg下げると、主要心血管イベントの発症リスク20%低下

Ettehad D, et al. Lancet 2016; 387: 957-967

● 降圧治療中の目標(130/80mmHg未満)達成期間75%以上で、心血管イベント発症リスクが低下

Meredith PA, et al. Blood Press 2016; 25: 74-82



心血管イベント抑制には、降圧目標を達成し、それを長年に維持することが重要です。



久留米大学医療センター 循環器内科 教授 甲斐 久史 先生のご紹介

### 経歴

昭和 53年 3月 福岡県立修猷館高校 卒業  
昭和 59年 3月 九州大学医学部 医学科 卒業  
6月 九州大学医学部 循環器内科  
平成 元年 6月 九州厚生年金病院 循環器科  
平成 2年 6月 九州大学医学部 循環器内科  
平成 4年 9月 アメリカ合衆国エモリー大学医学部 客員研究員(心臓部門)  
平成 7年 4月 聖マリア病院 循環器科  
11月 久留米大学医学部 第三内科 助手  
平成 10年 8月 久留米大学医学部 第三内科 講師  
平成 12年 12月 久留米大学医学部 第三内科 助教授  
平成 19年 4月 久留米大学医学部 内科学講座(心臓・血管内科部門)  
准教授(講座名・職名変更)  
平成 24年 4月 久留米大学病院 医療安全管理部 副部長(兼任)(~平成27年7月)  
平成 27年 8月 久留米大学医療センター 循環器内科 教授(~現在)  
平成 28年 4月 久留米大学医療センター 副院長(~現在)

### 所属学会等

日本内科学会(認定内科医、内科学会指導医)  
日本循環器学会(社員、循環器専門医)  
日本高血圧学会(監事、評議員、高血圧専門医、高血圧指導医、特別正会員(FJSH)、  
日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン JSH2009 作成委員、  
日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン JSH2014 作成(執筆)委員)  
日本心血管インターベンション学会(認定医)  
心臓血管カテーテル治療学会  
(腎神経アブレーション治療 3学会合同委員会ワーキンググループ委員)  
心不全学会(評議員)  
日本老年医学会(評議員、老年医学会研修指導医)  
American Heart Association(International Fellow, Council for High Blood Pressure Research)  
医療の質・安全学会  
日本医療安全学会(代議員)  
日本医療マネジメント学会  
日本心臓リハビリテーション学会(評議員)  
Korean Society of Cardiology(Honorary member)  
医療系大学間共用試験実施評価機構(共用試験医学系 OSCE 評価者(胸部))